

<平成29年7月24日>

リサーチゼミ「Brain-Voice Project」

講師： 藤井 洋 岐阜大学名誉教授（機械工学）

岐阜大学名誉教授の藤井洋先生に来ていただき、「声は脳を裏切れない！」ため、声の周波数解析をすることにより、人の心の状態を知る新しい科学に挑戦してみないかというお話を聴きました。多くの音声データを解析し、そのときの感情などと比較しながら、固有の特徴がないかを検証していくことにより、音声で心理状態を測ることができるようになるという内容でした。また、周波数の特徴と感情を結びつけることができれば、様々な分野で活用が期待できるとのことでした。今回のリサーチゼミは、これまでの研究成果の講演ではなく、今後、藤井先生をはじめとした専門家の先生方と、興味をもった岐山高校生とで共同研究を行っていききたいという提案でした。



生徒意見抜粋

- まさか声の周波数を解析することで人の感情を読み取ることができるかもしれないというのが、とてもすごいことだと思いました。これから大いに期待できそうだ。
- 声をデータ化して相手の感情を読み取るとはおもしろそうだが、苦手な「波」が関わっているので、波についてもう一度勉強しておきたいと思った。
- 声と感情という、人にとっては普通に関係が分かるものをはっきりとした数値や分析してみるの、とても面白いと思いました。
- 声や音や色が脳に与える影響についてとても関心をもった。音と脳の間関係を調べるのがおもしろそうだと思った。
- 今までほとんど聞いたことのないような分野の話であったけれど、なかなか興味深い話だった。
- 音の波を関数で表せることや、音の波形で感情を調べることは身近な場面で生かせることが分かった。考えたこととしては、人の感情は複雑でわかりにくいので、他の動物の波形を測れば、少なくとも単純な感情の波形は分かるんじゃないかと思った。